大正十年十二月二十日　昭和十四年三月十二日　第三種郵便物認可　第五千四百六十九號　〔日曜日〕　〔一〕

歐米ところどころ

長久保俊夫

（12）

然し往時の移民諸君が、收入多いのに甘んじて、その勞苦もとか小作農の樣に從事して、地位の進歩に計らないのも與つて力あつたことは否まれない。

ロサンゼルスの在留邦人は約三萬人と聞く。此等の人々が協力したら、餘程面白い事が出來るのだが、來る者と考へるのが間違つてゐるらしい。悪事を働くのは日本人にせぬとの定評もあつた。

二三百哩の旅行は自動車でするといふ。彼等の常識であるとも聞いたが、程遠い點頭かない。近頃では長距離の汽車よりも自動車の方が便利で、うつかり國道を歩いて居ると、ホールドアップされて、おろか、うしろから傾向にあり、鐵道會社は赤字續出につづいてゐる相な。これ程電話も自動車も發達して居ない日本の鐵道が萬歳といふものだ。

日本人の血をうけて居るから、日本人として敬はねばならぬので日本精神に缺けて居り、しかも被壓迫的な物質文明のみを追ひ、あまりにその中毒した國民への送金に營々として居る者が、ロサンゼルスの在留邦人の大部分らしい。そして生活程度は中以下と見受けられた。

車は老若男女取雜ぜの乘客で滿員だ。東海岸通勤者が大部分らしい。そして生活程度は中以下と見受けられた。

つゝの音

○

七尺の屏風は圍らず越ゆるべし、羅綾の袂を

古河黒躍吟社句屑（三）

○裏畑に薇掘る人や春淺し　淺倉東海
○菜の花の丘を廻りて安祥寺　同　人
○菜の花に朝のそよかぜ心よき　大瀧久保
○春淺し時間をにおき日差なる　同　人
○國防婦歌にぎやかに花菜路　喜歌吐月
○春淺し雫ず温室の硝子屋根　九里秋岳
○棹さすや早春の波靜やかに　同　人

島田忠夫近詠集（五）

魚取茶席二題

○梶田祥雲堂にて

一員師のあるじが立つる茶の香りよき新室にこもりゐらやや
あむろに茶をのみにけり外の面には紅葉ぬらしつゝなる雨

○河越邸茶席

思ひ出の道

（49）

天城麓　多賀谷　流雲

昔川二十代藩

歐米ところどころ

長久保俊夫

本人たることの誇りを與へるにあると信ずる。

此日も日本人の集りがあつて主として此の問題につき種々論議されたりのことである。

廿七日午前十時ロサンゼルス發、大陸横斷の途に就く。

美人作信圖

○

島田忠夫近詠集（五）

魚取茶席二題

○梶田祥雲堂にて

一員師のあるじが立つる茶の香りよき新室にこもりゐらやや
あむろに茶をのみにけり外の面には紅葉ぬらしつゝなる雨

○河越邸茶席

天氣豫報

小名濱測候所調査

昨日は南東の風雨
今日は北西の風天氣次第によくなる

日曜日

（日曜祭日翌日休刊）

東京朝日一ノ五ノ六ノ五ノ八ノ五

三月十一日

定價　一ヶ月金五拾錢　三ヶ月金壹圓五拾錢　六ヶ月金貳圓九拾錢　壹ヶ年金三圓六拾錢（何れも前金）

廣告料金　一行（一號活字）廿五字詰　一回金拾錢　五回以上金九拾錢　十回以上金壹圓六拾錢　一行增すごとに金拾錢宛增加

編輯兼發行人　石川米藏

印刷所　磐城新聞會社

磐城新聞

吸入用酸素純度99%

體量器

モノサシ　マス　ハカリ

體量計

體温器　寒暖計

秤ノ取締　壹糸・條　繩致シマス。

關内藥局

電話四〇番

◆内科、小兒科　院長　前田　滑美
◆外科（内臓外科、花柳病科）
◆産婦人科　副院長　幸恒足
◆耳鼻咽喉科　副院長　兒玉秀純
X光線科
（手術室入院室完備）

前田醫院

植田町本町　電話一二四番

産婦人科

井坂醫院

平市田町　電話五五九

看護婦至急募集

（委細面談）

高柳醫院

第一線の

慰問品ニハ

見不知羊羹と潮の華

平市五丁目

泉屋菓子店

電話六六八

日本石油株式會社特約店

ライジングサン石油株式會社重油特約店

福島縣平市一丁目（電話六十一番）

株式會社　# 關彰商店平支店

本店　茨城縣下舘町　電話五五、三三九番
茨城縣土浦町田宿　電話六五三番
茨城縣久慈町　電話一三七番
茨城縣多賀郡（電　大津一四七番
支店　際本驛前（電　平潟五四番
福島縣四倉驛前　電話　四八番
福島縣小名濱町
油槽所（常磐線泉驛前
濱岸給油所（大津港、平潟港、江名濱
ガソリン給油所（土浦町新國道日本石油給油所
電話八二番四

中等學校

高島屋の洋服

大特賣……奏外色防國

男女學生服　新入荷

品製既ニ並文注

高島屋

平市二丁目

電話三八六番

新車のお知らせ

斷然!!!　乘心地良い!!!

三七年型フオード

入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
市内四丁目

スヾキタクシー

電二一七番

銘木（床ノ間材）

天井板、ベニヤ板買ふなら

確かに御期待に添ふ良品廉價の

万織田材木商店へ

福島縣平市　電話平四六〇番

營業種目　建築木材一式　銘木・ベニヤ板　秋田產杉四分板　建具材・便利瓦

一變せる勉强振りを、せひ一度お試を乞ふ

◉小店員募集　年齢十五歳ヨリ廿歳迄

故障の起らぬ

ラヂオの口原

ラヂオつて揃つて國防…擧つて擧國

ラヂオは是非——

專門店へ

店代理社會式株機電線無口原

古山電氣商會

平市二丁目（警察署通り）

電話（吟田）166

平土產

米屋の味最中

平市驛前通り

最中專門店

米屋

御婚禮御着附

パーマネント
ウエーブ
洋和結髪
オゾン美顔術
御染髪洗毛

美爪術電話

六七八營業所
五二五自宅

平市驛前

水野化粧院

一、願書締切　四月二日
二、授業開始　四月二日
一、學科目　修身、珠算、國語、和洋裁縫、家事、生花、園藝

生徒募集

學則進呈

平市八幡小路

磐城家政學園

平市田町（電話五三一番）

高久病院

醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽濟
藥劑士　佐竹勉

内科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科

（看護婦至急募集）

警防團費の輕減や吏員恩給制度促進

花の四月公會堂で 東北市長の大評定

東北六縣並に北海道市長會議は花の四月を卜して中旬頃前後三日間に亘り平市公會堂に開催されるが

出席者は東北六縣下十六、北海道七、計二十三市長及關係者、縣から君島知事以下首腦部等約七、八十名に及ぶ筈

提案事項は各縣毎に行はれた市長會議に基くもので未だ到着分はないが時節柄警防團費の負擔輕減市吏員の恩給制度促進をはじめ東北特殊地としての交付金の増額等が議題の中心をなすものと見られて居り更にこの會議で議決されたうち重要案件二、三件を來る五月開かれる全國市長會議に提案されるものである

右開催に關しては既に平市當局から夫々通知してありその提出議案は昨十日迄報告されることになつてゐるが年度變りの多忙な折柄だけに未だどこからも報告を見ないので更めて近く再通知を發する筈である

千二百名を網羅 石城煙草耕作組合成る

けふ總會で陣容整備

其筋の一郡一ヶ所の方針に基き郡下千二百十名の耕作者を網羅結成された石城煙草耕作組合では既報の如く今十一日午前十時から市内マルトモホールに役員會、午後一時から平園体事務所に初總會を開き

△平植田兩組合合併規約設定△補償資金積立特別會計規約設定△十四年度豫算(六千九十五圓)△一時借入金(五萬圓以内)△組合經費借入(三千圓以内を常陽銀行)の諸件を附議後組合長鷲浩昇副諸橋久太郎氏以下總代人の選擧を行ひ新陣容を整へた、郡下の耕作反別は百十一町歩、その區域並に事業は左の如く今後これによる地方の恩惠は少くないものがあらう

(區域)磐崎、泉、渡邊、植田、山田、錦、勿來、上遠野、入遠野、川部、田人組合、高久、磐間、江名、鹿島、玉川、好間、神谷、草野、大浦、大野、上下小川組合、平(事業)反別配當、種子採取分配苗床の設備管理、乾燥調理方法改良、品評會罷話會、耕作教師雇傭 煙草檢査收獲量目調査及び納付、犯則豫防、耕作資金の融通貯蓄、耕作に要する物品共同購入、優良地域各種團体又は優良耕作者表彰

・・・・滿蒙視察講演會 澤渡村では十一日午前十一時から小學校庭に滿蒙開拓視察講演會を開き大浦小學校長根本喜代一氏の『滿蒙開拓地視察を了へて』と題する講演に次いで平市養蠶教師木佐藤治郎氏の『軍紳大越中田』の講演がある

産駒品評會

石城産馬畜産組合主催第四回産駒品評會は昨十日澤渡村中寺市場に開き出場七十頭松本縣技師、三森技手審査の上

一等二、二等四、三等八四等一六、計三十頭の入賞を決定した

△一等荻野傳吉(永戸)折内七藏(三阪)△二等佐川林藏(澤渡)草野惣吾(同)宮澤茂作(三阪)田子孝季(同)△三等榊原右近(澤渡)佐藤幹彦(同)松本庄吉(三阪)佐藤靜(同)折内泰治(同)草野清之助(澤渡)岡田留治(三阪)草野吉治(同)△四等三瓶潘男(澤渡)外十五名

兩勇士遺骨凱旋

漢口攻略戰で散華した小名濱町本町兩角部隊軍曹高木厚吉、同町下町上等兵星野正爾君の遺骨は十三日午後一時九分泉驛着で喪の凱旋

女給さん勇士慰問

市内女給聯風會代表十五名は十五日飯坂病院を訪問レコードや各自の隠し藝等で白衣勇士慰問

軍事援護主任會議

げふ平、あす植田で

平市並に郡北各町村の軍事援護事業主任者打合會は十一日市會議事堂、明十二日は植田町役場で開き縣小林泉兩屬から種々指示

市町村銃後奉公會設置、軍事援護相談所活用、歸還兵援護徹底、醫療援護徹底、生業援護並に生業指導、軍事援護に關する各種報告の期限勵行、物資動員による失業者の生業援護

新野菅原兩家慶事

入山本社員仙臺市新野えき女史長男政治君(三〇)は宮城銀行常務取締役仙臺商工會議所議員常任委員山田男太郎氏夫妻の媒酌により磐炭鑛業所長菅原萬治郎氏長女みよ子孃と婚約整ひ昨十日午後二時より仙臺市片平町大神宮に於て結婚式を擧げ同五時から八百条別館に於て披露の宴を張つた、新郎は東北帝大出身の秀才法學士、新婦は磐女から女子共立學校を出た才媛である

・・・・戸籍事務研究會 平方部戸籍事務研究會を十七日午前十時から市會議事室に開き來月二十一、二の兩日郡山に開かれる縣下戸籍事務協議會への提出議案につき協議 午後は雞卵出荷統制を協議

花の準備に一と惱み

肝腎の電線拂底で 更に明後日再協議

松ヶ岡公園花の準備を先づ電飾問題からにしやうと市當局では昨十日鈴木大日本電力主任、藤波電氣協會長らを招いて相談したが時節柄肝腎の電線拂底に陷つてゐることゝて一寸惱みの種であるが前記關係者によつて極力これが需要を滿すとともに更に明後十三日相談の上觀櫻客の誘致其他本格的準備に乘り出す筈である

益子氏寄附

市内田町梅の湯主人益子富治氏はシベリヤ出兵の際從軍、御下賜金を貯蓄五十圓に達したので三十圓を郷軍分會へ二十圓を市軍事後援會へ、又市内古鍛冶町第六組少年永島茂一君外十名は鳥小屋の賽錢金二圓を軍事後援會へ

・・・・小名入學兒調べ 小名濱町の新入學兒童は男二百二名、女百九十一名計三百九十三名で前年對比三十餘名の増

待ち人來らずの悲哀

地方の申込み殺到にも應じ兼ね 氣を揉む平職業紹介所

平職業紹介所に殺到する各方面からの求人は昨今小學校卒業時期を控へ一入夥しいものがある旨既報の如くであるが一方地元平市の各工場、商店其他が深刻な手不足から之亦要員の備ひ入れに狂奔しつゝある様物凄く紹介所を中心に茲許猛烈な求人ごつこを展開してゐる。即ち今十一日現在で同所前に掲出された市内關係の主な求人は

鑄物職工十二、商店九、製菓三、電機商、洋服裁縫、理容各二、木工、飲料水製造、食堂、ボール箱製造、印刻、硝子職、タイヤー、寫眞、製糸の多種多様なものある處へ所在地外としては江名、四倉の鐵工、昭和人絹、日水自動車從業員等差當り四十八口の多數に上つて居り、之が負けず劣らずの優良條件を翳してゐるが今の處これぞと云ふ希望者も少く、どうやら待ち人來らずの態に同所でも手を燒いて居る

畜牛組合強化

平、好間、赤井、小川一市三ヶ村で今度畜牛組合を結成、郡組合に合流して事業の強化をはかることゝなり十日午後一時から組合結成につき協議した

現在の飼育數は郡組合が三百頭の外前記平方部が約八十頭、縣からの種牛借受けも既に決つてゐるといふ

・・・・人絹荒しに懲役 昭和人絹工場から鉛屑等を盗んだ錦村人夫脇屋三郎(三二)同飛田桂太郎(四二)兩名の判決公判は九日平區で開き淺野裁判長から脇屋は懲役十月、飛田は同一年を言渡された

田人村葬

田人村出身歩兵伍長高橋幸喜君の村葬は明後十三日午後零時三十分から田人小學校に於て執行される筈で盛儀を豫想されてゐる

・・・・愛谷江新委員 愛谷堰水利組合議員會を八日夏井村役場に開き新豫算附議、左記委員を選任した

(臨時委員)夏井村酒井粂吉、平市松崎長太郎(常設委員)夏井村高木濟太郎

・・・・農事副業協議 地方の農事副業協議會を十九日平園体事務所に開き縣鼓中技師臨席午前中は兎に關し講演

平市慶弔錄

△出生 中平窪松崎忠一氏五女一江ちやん、本籍二丁目東京市荏原區戸越町淺川三郎氏二男清君

○婚姻 内郷村白水矢越正一氏(二八)鎌田町矢越トヨさん(二二)

▲死亡 本籍古鍛冶町茨城縣磯原町菅波岩次氏(一九)

・・・・四倉理髪總會 四倉署管内理髪業組合總會を十五日午前九時から開き役員改選優良徒弟表彰

國防一色に統制

今年から無くなる黑服 磐中平商に甘い感傷

僅かに五年生にその俤を止めて昔懷しい憶ひ出を偲ばせてゐた黑の制服が磐中、平商とも愈よ今新學期から全然其の姿を消し、新入生の隨意服裝期間を經過しゝ第二學期からは兩各校を擧げて國防色に統制される筈である。顧れば去る昭和十年現行の服裝に改正さるゝや年々卒業期と共に黑服組が減少し五年目の今日を以て全部之れが無くなつたわけである。これを契機に高月、揚土の兩學園には一段非常時色が濃度を増す譯になるが開校以來の黑服が今度は單に先輩の寫眞に懷しむ以外、昔を偲ぶよすがも無くなつた兩校の後進學生たるものまた一種の甘い感傷無きを得ぬものがあらう

た披露目

松ヶ岡や新川端の櫻に魁けて昨日一齊にパッと開いた解語の花三輪。曰く谷口の秀千代、同じく牛玉小鈴、久本から之亦牛玉の久丸

あす平商卒業式

舊校舍の最後を飾る 牙壽の雄九十名

平商業學校第十九回卒業證書授與式は明十二日午前十時から揚土臺なる舊校舍講堂の最後を飾つて擧行されるが戰時下を固むる牙壽の雄として巣立つ卒業生は左記八十四名である

(五十音順◎優等○五ヶ年間精勤)

秋元博 阿部浩祐 會田五郎 赤津友衛 ○荒川利夫 青木勝雄 安齋幸男 市原健 泉滿 稻田宮茂 ○隊川慶藏 宇佐美甚一 ○内藤晃 鵜沼朗 上田一政 江尻敏雄 ○江尻庄三 織内信一 ○大塚武治 大西亀雄 太田仁吾 大久保一 小野寛弘 ○賀澤清 加澤竹雄 粂本弘 金子圭助 木田恭平 北郷長二郎 ○櫛田進 草野光三 栗崎賓 小松益榮 ○小杉幹延 ◎小柳八三郎 ◎佐藤良江 ◎○佐久間二郎 佐藤弘 鷲長次 佐藤賢吉 志賀積善 柴田茂一 志賀弘昌 ◎鈴木保司 鈴木德夫 鈴木淳一郎 鈴木正平 鈴木武彦 給木亨 袖山勝伯 高橋三郎 田中忠雄 武田善次郎 田仲敬直 田澤秀穂 瀧正行 高橋善一 友部六郎 ○永島利弘 永山重信 中田利次 新妻武治 根本一 野口隆男 箱崎照義 ○蛭田正一 比佐一 藤田宏一 古内久男 星野隆 本田武弘 ◎松崎一吉 松澤武吉 松崎豊 松本喜正 松崎茂 三浦一二 ◎村上信 柳井勝義 山崎茂次 吉田治三郎 鷲見誠三 藥谷英夫 渡邊五郎

卒業生志望就職別

數多は自家營業の十四名

卒業生の志望別は自家營業の十四名を筆頭に主なるものの左の如く何れも決定濟みであると

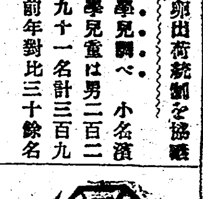
進學一 入山六 磐炭四 古河 國際運輸 美津野運動具各三 三和銀行 東京動産火災 三菱礦業 安田銀行 東京瓦斯電氣 芝浦製作所 東京自動車製造 明治火災各二 野村銀行 三菱同 日立鑛山 日滿商事 南洋貿易其他

十二日(小名濱測候所發表)

滿潮 前七、一五 後―― 干潮 前三、二〇 後――

十二日

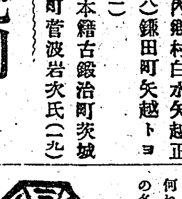
滿潮 前八、〇五 後―― 干潮 前四、五五



舊正月二十二日 日曜 戊申 佛滅 執 虚宿 新三月十二日

諸判定鑑 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部神誠館

▲一白 光榮に滿たさるゝ日開店名弘め何れも大吉▲二黑 内外多事なれども成功も一段と大なるべし▲三碧 思ふやうにならぬとも失望せずに勵むべし▲四綠 上下に事多けれども運氣次第にのび行くべし▲五黃 活氣に滿ち難事も自然と解決を告ぐべき日▲六白 苦しみし割に報ひ少し後援者に離れ勿れ▲七赤 勤勞あかず漸を以て進む時は吉日と成べし▲八白 諸願成就する日開店事始め名弘め何れも吉▲九紫 目的に反する事の多く出づる日陰忍すべし



舊正月二十三日 月曜 巳酉 大安 破 危宿 新三月十三日

▲一白 不安より漸くのがれ出でたる様な日自重せよ▲二黑 强大なる運命に惠まれた日名弘め尤も吉▲三碧 身を下に從き目上に從へば萬事違ひなし▲四綠 融通利かず頑迷に流れて衆望を失ひ易き日▲五黃 順調に進むことを得て有終の美を爲す吉日▲六白 商法の事は注意を要すれど他の事は皆無事▲七赤 利する所少なくとも手堅くするが安全なり▲八白 氣をさかんにし奮鬪うむことなくば發展す▲九紫 あせらず茫立たず成行を見つゝ機運を待つべし

簡易ノ金融 磐城無盡 趣味ノ貯蓄 縣内各町出張所

生徒募集

昭和十四年度募集人員

本科……(修業年限二ヶ年)五〇名

技藝科……(修業年限二ヶ年)五〇名

專攻科……(修業年限一ヶ年)二〇名

各科二年……補欠入學生若干名

入學願書ニ履歴書ヲ添ヘ三月三十一日迄ニ提出下サイ、入學試驗ヲ行ハズ願書受付順ニ入學ヲ許可致シマス

入學式ハ四月一日擧行致シマス

規則書請求ノ場合ハ返送料トシテ郵券切手參錢送附ヲ願ヒマス

平市揺拍小路二十番地

文部大臣認可 平陽女學校

おでん、やき鳥 小鳥燒も初めました。

お酒のあとに おけさめし

おでん 茶めし 酒の家 平市三田小路(三丁目裏) 味郷

成田講中

四月三日 平驛午前七時四十八分發 翌日成田 午前解散

會員 金八圓五十錢 但待遇昨年同樣

定員五十名 但締切三月三十一日

成田山大新榮講 講元 井上貞治郎 平市五丁目 電話六六番

内臟外科一般 外科花柳病科 (入院隨意)

平市六丁目(橋際) 木村外科醫院 電話三〇九番

生徒募集

◎中堅公民ハ佑賢中等科ヨリ

◎受驗難關突破ハ佑賢專修科ヨリ

磐城佑賢學舍 〔電話九三〕

支那時文科新設

商業簿記科特設

八月分授業料ハ徵收セズ

◎古敎科書半額以下ノ讓渡斡旋

難波醫院

内科 小兒科 入院應需 自炊の便あり 平市大町 電話五〇二番

(看護婦見習、看護婦募集)

醫學博士 難波陸

時計職工 見習生募集 年令十五六才 (委細面談)

茨城縣助川町榮町 ミツエヤ時計店